

令和4年度 地域観光資源の多言語解説整備支援事業 内容監修者一覧

「地域観光資源の多言語解説整備支援事業」では、事業に関わったライター、エディター、スタイルチェッカー、内容監修者らの人材を総称し、専門人材と呼びます。これから多言語解説文を作成する地域の参考となるよう、専門人材リストとして取りまとめました。  
注)本リストに掲載されている全ての情報は、利用目的や範囲を事前に事業者及び内容監修者に通知し、同意を得た上で公開しております。

■ 内容監修者

担当地域略称	推薦者名	現職	居住地	連絡先	日本語対応	専門分野	詳細分野 (自由記載)	学歴	人物紹介	実績	リスト公開の可否	事務手配
1 003_松本城・旧開智学校校舎 006_日吉大社 007_青井阿蘇神社 016_輪島塗 019_美山かやぶきの里 021_「国境の島」	デービッド アトキンソン (わかりやすい多言語解説整備推進委員を兼任)	株式会社 小西美術工芸社 代表取締役社長 日本政府観光局 (JNTO) 特別顧問	東京都		○	文化財	日本学専攻	オックスフォード大学日本学科 卒業	1965年イギリス生まれ。オックスフォード大学「日本学」専攻。裏千家茶名「宗真」拝受。1992年ゴールドマン・サックス証券入社。金融調査室長として日本の不良債権の実態を暴くレポートを発表し、注目を集める。2006年に共同出資者となるが、マネーゲームを連続するに至り2007年に退社。 2009年創立300年余りの国宝・重要文化財の補修を手掛ける小西美術工芸社に入社、2011年同社社長に就任。2014年より現職。文化財の修復を専門とする小西美術工芸社の社長として、数々の文化財の修復を実施。 2017年から日本政府観光局特別顧問などを務める。 『新・観光立国論』(山本七平賞、不動産協会賞受賞) 『新・所得倍増論』 『新・生産性立国論』(いずれも東洋経済新報社) など著書多数。2016年に『財界』 『経営者賞』、2017年に「日英協会賞」受賞。	明日の日本を支える観光ビジョン構想会議委員 (内閣官房) 国立公園満喫プロジェクト有識者会議委員 (環境省) 文化財の多言語解説等による国際発信力強化の方策に関する有識者会議委員 (文化庁) 文化財の英語解説のあり方に関する有識者会議委員 (文化庁・観光庁) 『美しい国 日本』の実現に向けた観光資源活性化に関する検討会議委員 (観光庁) 2018年度 地域観光資源の多言語解説整備支援事業 Executive Editor 世界水準のDMOのあり方に関する検討会委員 (観光庁) 他	可	
2 001_国立工芸館 016_輪島塗	ジェレミー フィリップス	金沢大学国際基幹教育院特任助教 金沢大学資料館研究員 フリー翻訳者	石川県	jdphillips@staff.kanazawa-u.ac.jp	○	観光	日本史 (近代史・都市史)	○東京外国語大学附属日本語学校 国費留学生として入学 ○金沢大学文学部 卒業 ○金沢大学文学研究科 修了 ○金沢大学社会環境科学研究所 学位取得後修了 ○金沢大学文学部日本学術振興会外国人特別研究員 □フリー翻訳者 □金沢大学 (留学生センター) 非常勤講師 □金沢大学資料館 (客員)研究員 □北陸学院大学 (コミュニティ文化学科) 非常勤講師 □金沢工業大学 非常勤講師 □金沢大学 (国際基幹教育院) 特任助教 (『日本史・日本文化』)	1991年に国費留学生として来日。1992年より金沢在住 (金沢大学在学)。 2016年より現在に至るまで金沢大学国際基幹教育院特任助教。日本史・日本文化の講義を担当。また、英語論文作成法に関する講義 (金沢医科大学) や、日本の都市史に関するセミナーでの講師等の実績をもつ。専門は近代日本史、近代都市史、都市史、地方主義と帝国主義。 (1991年来日)	著書・論文 『Creating Modern Cityscapes and Modern Civilians: The Urban Planning Law and the 1927 Hikos Fire Reconstruction in Kanazawa』 『Living on Past Glories and Future Dreams: The Effects of Depopulation on Early Modern Urban Development in the Former Castle Town of Kanazawa』 『都市と帝国～1930年代日本における地方アイデンティティと地方的帝国主義』 『帝国主義的発展論』の言説と表現～1932年の「金沢市主催産業と観光の大博覧会」にみられる対外意識と地方開発』 『日本海時代～1930年代における帝国主義と地方アイデンティティに関して』 『軍国の春と金沢大博覧会にみえる地方型帝国主義～「日本海時代」と対外意識の表現化』 『対日空襲における中小都市の目標設定に関する研究～金沢はなぜ空襲を免れたのか?』 他	可	○
3 002_鯖街道	徳満悠	福井県立若狭歴史博物館 学芸員	福井県		○	日本中世史	都市史・交通史		学芸員として、地域の文化財等について調査・研究・普及活動を実施している。	若狭歴史博物館において展示を企画・開催 嶺南地域の歴史資料について調査・研究を実施	一部非公開 (連絡先、学歴)	
4 002_鯖街道	小島 秀彰	若狭町歴史文化課 課長補佐 (学芸員)	福井県		○	考古学・文化財	特に若狭地方			『北寺遺跡Ⅱ発掘調査報告書』『ユリ遺跡Ⅱ発掘調査報告書』『藤井遺跡資料編 (石器)』 (旧三方町・若狭町発行) 編著 『日本の遺跡51 鳥浜貝塚 若狭に花開いた縄文の文化拠点』 (同成社) 執筆 若狭三方縄文博物館運営・リニューアル等 若狭町歴史文化館運営等 若狭町歴史環境講座運営等	一部非公開 (電話、メール、学歴、人物紹介)	
6 003_松本城・旧開智学校校舎	山村 麻里子	松本城管理課 事務員	長野県	0236-32-2902 mariko_yamamura@city.matsumoto.lg.jp	○	旅行業	松本市周辺	中央大学 文学部文学科仏文専攻	インバウンド専門の旅行会社で勤務、全国の地上手配を行う。 通訳案内士としてインバウンドの団体の案内を行う。	インバウンド団体を対象にガイドとしての活動経験あり。一般的な観光地をめぐる旅行から、アドベンチャーーツーリズムなど。 2019年全国通訳案内士に登録後、インバウンドのツアーに同行して、ガイドとして活動 2012年より松本城ボランティアガイド (ALSA)に所属し、外国人観光客を対象に英語で案内を行う。 松本市氷彫フェスティバルにて、オランダグループの通訳 NHK BSプレミアム番組で松本城鉄砲隊を案内する際の通訳	可	
7 003_松本城・旧開智学校校舎	遠藤 正教	国宝旧開智学校校舎 学芸員	長野県	0236-32-5725 masanori_endou@city.matsumoto.lg.jp	○	日本史	近代教育	金沢大学大学院人間社会環境研究所 (修士・日本史)	旧開智学校校舎の学芸員として整備対象の調査研究・保存活用にあたる。	国宝旧開智学校校舎の運営・調査研究 旧開智学校校舎の国宝指定時の担当者	可	

令和4年度 地域観光資源の多言語解説整備支援事業 内容監修者一覧

「地域観光資源の多言語解説整備支援事業」では、事業に関わったライター、エディター、スタイルチェッカー、内容監修者らの人材を総称し、専門人材と呼びます。これから多言語解説文を作成する地域の参考となるよう、専門人材リストとして取りまとめました。  
注)本リストに掲載されている全ての情報は、利用目的や範囲を事前に事業者及び内容監修者に通知し、同意を得た上で公開しております。

■ 内容監修者

担当地域略称	推薦者名	現職	居住地	連絡先	日本語対応	専門分野	詳細分野 (自由記載)	学歴	人物紹介	実績	リスト公開の可否	事務手配
8 004_美濃市	田畑 洋子	地域案内通訳士 (英語) 英語会話教室運営	岐阜県	tbt0718yyy@gmail.com	○	観光インバウンド 伝統産業 伝統文化	地元である美濃を含む岐阜県の観光資源 地域通訳案内士は高山で取得 (英語) ENO0035号	Nagoya International College(NIC) 名古屋外国語専門学校 外国語学科 創価大学文学部人間学科異文化コミュニケーション (日本語) メジャー(日本語教員取得のため現在在籍)	パンフレットに記載されていない日本を発見するの楽しみ。地元の人と日本語で挨拶も気持ち良いもの。人との出会いを大切に案内、通訳しています。魅力あるコミュニケーション者として教室運営も。	当該地域を含む英語の観光ガイド、通訳として10年以上活動 「美濃市の歴史 (概要)」の英訳 美濃ゆめまち会製作「美濃マップ」英訳 美濃うだつの上がる町並み案内ボランティアの会所属 (英語、日本語) Mino Art Info みのあーといんふおメンバー 観光協会主催「おもてなし英語講座」講師担当 (現在は中断) 美濃うだつの上がる町並み「うだつ等説明看板」英訳 等 備OTC (Overseas Training Center)勤務、インタースクール名古屋校専修IVコース (6か月) 修了経験	可	
9 005_如庵	堀田 典裕	名古屋大学大学院環境学 学研究所 准教授	愛知県	/	○	建築史・意匠	/	名古屋大学大学院工学研究科博士後期課程修了	近現代建築都市の歴史・意匠について研究を行なっている。	書籍『フレッチャー 図説 世界建築の歴史 大事典』の翻訳 『旧中山道太田宿調査報告書』『美濃市伝統的建造物群保存調査報告書』『近代日本の郊外住宅地』吉田初三郎の鳥瞰図を読む：描かれた近代日本の風景『自動車と建築』古地図で楽しむ なごや今昔『古地図で楽しむ尾張』などの執筆	一部非公開 (メールアドレス、詳細分野)	○
10 006_日吉大社	ジョン プリン	/	/	/	○	日本の近代史	近代日本の天皇、神社	BA, MA, PhD Cambridge大学	神社の祭礼を始め、神仏習合や明治期の神仏分離などを含めた幅広い内容を研究	著作 『儀礼と権力：天皇の明治維新』法蔵館文庫2020/平凡社2011 『鈴木大拙 禅を超えて』(共編著) 思文閣2020 『変容する聖地 伊勢』(共編著) 思文閣2016 『神都物語』吉川弘文館2015 など多数	一部非公開 (役職、居住地、電話、メール)	
13 008_阿寒摩周国立公園	マーク ブラジル	JAPAN NATURE GUIDES 代表	北海道	/	/	自然 ・鳥類学者 ・日本の鳥類と哺乳類、自然全般 ・観光全般 ・アドベンチャーツーリズム コンサルタント	/	キール大学卒業 (生物学・英文学修士) スターリング大学 (博士号取得)	日本の自然について The Japan Timesにコラムを長期連載し、日本を含む東南アジアの野鳥のフィールドガイドブックなどを執筆。現在はフリーランスとして、作家、自然ガイド、学術論文校正者、世界のネイチャーツアーのリーダーとして幅広く活躍。	～2015年 The Japan Times 「Wild Watch」を連載 1998年～2007年 酪農学園大学教授 (biodiversity & conservation) 1987年～現在 Birds of East Asia, The Nature of Japan 2022年 「WildHokkaido」発行 他 著書多数	一部非公開 (電話、メール、日本語対応)	
14 009_大雪山国立公園	金森 晶作	とちか鹿追ジオパーク推進協議会・学術専門員 鹿追町役場ジオパーク推進課推進係 (環境科学専門員)	北海道	0156-67-2089 kanamori@shikaostory.jp	○	雪氷学・地球システム科学	雪氷現象、気候変動、科学技術コミュニケーション	2002年 北海道大学農学部農工学科卒業 2008年 北海道大学大学院環境科学院 博士後期課程 修了博士 (環境科学)	学位取得後、公立はこだて未来大学特別研究員として、はこだて国際科学祭をはじめとする地域ぐるみの科学技術コミュニケーション活動のコーディネーターを10年ほど経験。第60次南極地域観測隊 (2018-2020) で越冬隊員として大気や雪氷の観測を担当。現在ジオパークの学術専門員として科学と地域を結ぶ活動を展開中。	雪氷学・地球システム科学を専門とし、大学院では北米アラスカ州で掘削した山岳アイスコアの研究を実施。現在はとちか鹿追ジオパークの学術専門員として各種講座の講師、展示解説、イベントの企画開発など自然科学と市民を繋ぐ役割と、気候変動に関するモニタリング調査を行っている	可	

令和4年度 地域観光資源の多言語解説整備支援事業 内容監修者一覧

「地域観光資源の多言語解説整備支援事業」では、事業に関わったライター、エディター、スタイルチェッカー、内容監修者らの人材を総称し、専門人材と呼びます。これから多言語解説文を作成する地域の参考となるよう、専門人材リストとして取りまとめました。  
注)本リストに掲載されている全ての情報は、利用目的や範囲を事前に事業者及び内容監修者に通知し、同意を得た上で公開しております。

■ 内容監修者

担当地域略称	推薦者名	現職	居住地	連絡先	日本語対応	専門分野	詳細分野 (自由記載)	学歴	人物紹介	実績	リスト公開の可否	事務局手配
15	009_大雪山国立公園	澤田 結基	とから鹿追ジオパーク推進協議会・委員 広島県福山市立大学・教授	広島県 090-3775-0566 y-sawada@fcu.ac.jp	○	自然地理学	風穴・永久凍土・周氷河地形	■和文から英文への翻訳 ・ 学術論文・書籍・時事問題 (英字新聞・雑誌) ・ 文化交流 (作家・実業家・政治家・建築家等の著作) ・ エッセイ・スピーチ、展覧会パンフレット、その他  ■英文校閲、リライト、校正その他 ・ 出版および会議のための英文の校閲、リライト、校正 ・ 出版のための制作アドバイス	大学生の頃より鹿追町の然別火山群で風穴、永久凍土の研究をはじめ。その後、風穴地帯の地下から永久凍土並びに日本で一番古い氷を発見。とから鹿追ジオパークの立ち上げ時より学術面のサポートを担当している。	論文 Sawada, Y. et al., 2003, Thermal regime of sporadic permafrost in block slope in Mt. Nishi-Nupukaushinupuri, Hokkaido Island, northern Japan, Geomorphology, 52, p121-130. Sawada, Y., 2003, Monitoring of ground-ice formation in a block slope at Mt. Nishi-Nupukaushinupuri, Hokkaido, Japan, Proceedings of 8th International Conference on Permafrost (Taylor & Francis) Vol.2 pp.1001-1005. Sawada, Y., 2006, Preliminary results of the micro-topographical change and its effects on the active layer in boreal forest near Yakutsk, eastern Siberia, Symptom of Environmental Change in Siberian Permafrost Region, Hatano and Guggenberger Eds. (Hokkaido University Press) pp.207-212. Sawada, Y., 2008, Origin and Age of Perennial Ice within a Block Slope in Shikaribestu Mountains, Hokkaido, Japan, Proceedings of 9th International Conference on Permafrost (Institute of Northern Engineering, University of Alaska Fairbanks) Vol. 2 pp.1577-1582 Sawada, Y., 2008, Stories of the White River, Kyokko (宇宙航空研究開発機構), No.8 pp.4-5.  ■英語実績■ アメリカ、ヨーロッパ、ロシア等の海外調査経験を複数回有する。アラスカ大学へ短期留学する授業の連絡調整と引率を担当し、業務で英語を使用している。英語での国際学会発表、学術論文執筆の経験複数あり。国際永久凍土学会が北海道で開催された際には、世界各国の研究者に対し鹿追の風穴地帯を英語でガイドした。	可	
16	010_十和田八幡国立公園	安田 隼人	小坂町立総合博物館郷土館学芸員	秋田県 0186-29-2069 kyodokan1982@town.kosaka.akita.jp	○	近代史	東北地方	東北学院大学大学院 文学研究科アジア文化史専攻博士前期課程	学芸員として、地元根差した活動研究を実施	小坂町立総合博物館郷土館の学芸員として和井内貞行特別展を企画、運営 矢巾町伝統文化活性化実行委員会 八戸地方えんぶり調査委員会調査員 特定非営利法人宮城歴史資料保全ネットワーク会員 全日本博物館学会 明治維新史学会 弘前大学歴史研究会 岩手民族学会 美術史学会	可	
17	010_十和田八幡国立公園	ブレット ピーター レスリー ジョンソン	小坂町国際交流員	秋田県 0186-29-3908 kankou-syukou@town.kosaka.akita.jp kosaka-cir@town.kosaka.akita.jp	○	・日本語 ・教育	・日本の文化と歴史 ・外国語教育(日本語/高校)	西オーストラリア大学 文学士 (日本語) 教育修士 (高校/外国語専門)	小坂町国際交流員として自国オーストラリアから赴任し、地域に根ざした国際交流活動の企画及び運営を実施	十和田湖観光パンフレットの英訳監修 出身国の紹介コラムを執筆、町広報に毎月掲載 小坂町国際交流協会理事 町内各種団体との交流事業	可	
18	011_阿蘇くじゅう国立公園	ケビン ショート	元東京情報大学 環境情報学科 教授	千葉県 kevin@macewen.co.jp	○	自然 文化人類学 民族植物学		○上智大学国際教養学部 卒業 ○アラスカ大学人類学修士課程 修了 ○北海道大学文学部北方文化研究施設 研究生 ○スタンフォード大学人類学修士課程 修了  □エコツーリズム推進アドバイザー・派遣事業外部アドバイザー (環境省)	1949年生まれ。1972年来日、1975年に上智大学を卒業。その後はアラスカに渡り、アラスカ大学で文化人類学を学ぶ。1977年、修士号を取得。さらに1991年にはスタンフォード大学の文化人類学専攻により博士号を得た。日本の里山を研究のテーマとする。自然観察会や講演会を通じて環境教育に携わる他、博物学・自然史のライターとしても活動する。(1972年来日)	著書 『ケビンの里山自然観察記』 『いんざいのネイチャー・ウォッチング』 『ケビンの観察記-海辺の仲間たち』 『Nature In Tokyo: A Guide to Plants and Animals in and around Tokyo』 『トクター-ケビンの里山ニッポン発見記』 『The Insect Stories of J. Henri Fabre (編集)』他  読売英字新聞週刊連載エッセイ『Nature in Short』執筆 (20年間) 日本航空国際線機内誌『JAPAN FEATURE』執筆 (10年間)  平成30年度、令和元年度地域観光資源の多言語解説整備支援事業 解説文監修 (大山隠岐国立公園)	可	○
20	011_阿蘇くじゅう国立公園	長谷 義隆	天草市立御所浦白亜紀資料館 名誉館長	熊本県 090-7382-8557 ryu2sho5@jcom.zaq.ne.jp	○	地形・地質	主として約300万年前から現在までの中部・南部九州の地質・地形の形成過程および古環境変遷を調査研究	熊本大学理学部地学科 理学博士 (北海道大学)	熊本県上天草市史 自然編 執筆・編集等、地質の執筆に従事。	熊本県天草諸島の英語の地質ガイドブック: The Amakusa Islands - A living museum on the sea 2020年 熊本県上天草市史 自然編 執筆・編集 2022年 天草市立御所浦白亜紀資料館館長 (2007~2022.3)	可	
22	011_阿蘇くじゅう国立公園	坂本 真理子	九州両生爬虫類研究会 事務局長 熊本野生生物研究会	熊本県	○	動物	両生・爬虫類	熊本大学大学院 自然科学研究科	両生・爬虫類の執筆に従事。	『九州・奄美・沖縄の両生爬虫類 (発行: 東海大学出版部)』の編集・分担執筆 博士 (理学) ビオトープ管理士 (計画1級, 施工1級) 環境カウンセラー (環境省)	一部非公開 (連絡先)	
30	012_奄美群島国立公園	常田 守	ネイチャーライブラリー 代表	鹿児島県 090-9599-3079 amamithrush95993079@gmail.com	○	自然ガイド 自然写真家	奄美の自然、野鳥、植物、動物 写真家 自然ガイド	鹿児島歯科学院	奄美生まれ。著名な自然ガイド、世界自然遺産誘致に尽力。	著書『奄美の自然入門』(南方新社; 2021/8/9) 著書『水の育む島 奄美大島』(文一総合出版; 2001/7/1) 写真提供『Japan: The Natural History of an Asian Archipelago』(Mark Brazil, 2022 Princeton University Press) 表彰 野生生物保護功労者表彰環境大臣賞  ■英語実績■ 長年自然ガイドとして、海外からのバードウォッチャーやIUCNの専門家などの自然観察者を案内した経験多。	可	

令和4年度 地域観光資源の多言語解説整備支援事業 内容監修者一覧

「地域観光資源の多言語解説整備支援事業」では、事業に関わったライター、エディター、スタイルチェッカー、内容監修者らの人材を総称し、専門人材と呼びます。これから多言語解説文を作成する地域の参考となるよう、専門人材リストとして取りまとめました。注)本リストに掲載されている全ての情報は、利用目的や範囲を事前に事業者及び内容監修者に通知し、同意を得た上で公開しております。

■ 内容監修者

担当地域略称	推薦者名	現職	居住地	連絡先	日本語対応	専門分野	詳細分野 (自由記載)	学歴	人物紹介	実績	リスト公開の可否	事務局手配	
31	012_奄美群島国立公園	ティモシー ベバン ショースタク	ショースタクランゲージサービス代表	鹿児島県	090-3736-2538 info@shostaklangua geservices.com	○	英会話教室経営 翻訳 ガイド	英会話教室主宰 観光ガイド	桐蔭大学法律	名瀬で英語教室を主宰するほか、英語観光ガイド。	奄美の世界自然遺産センター(2022年オープン予定)の展示の英語翻訳を手掛ける。他、観光関係の翻訳多数。奄美の英語観光冊子「All about Amami」(農水省農泊補助事業の一環)を執筆(翻訳ではない)。	可	
32	012_奄美群島国立公園	ジョン マノリト カントウ	HP翻訳 代表	鹿児島県	090-3521-9403 info@hphonyaku.com	○	翻訳 ガイド	翻訳者、観光ガイド、コピーライター	グリフィン大学日本語 駒澤大学留学日本史	翻訳会社主宰。 観光ガイドとして外国人向け観光商品造成。焼酎に造詣が深い。	熊本県委託熊本城解説の翻訳 オーストラリアのクイーンズランドで観光ガイド経験豊富	可	
33	012_奄美群島国立公園	水野 康次郎	あまみ観光物産連盟 島コーディネーター-奄美国際ネットワーク 役員	鹿児島県	090-9096-1375 mizuno@kojiroworks.jp	○	海洋生物・人類学研究 ガイド	研究者 ガイド 飲食店経営	筑波大学院環境科学	ウミガメの調査で奄美大島に移住。本土や海外、島を行ったり来たりしながら2011年に完全移住。海洋生物や海に係る人類学研究のかたわらガイド、飲食店経営。	海洋生物、海に係る人類学研究で論文多数 「奄美大島及びその島嶼部におけるウミガメの産卵地」「鹿児島県奄美大島瀬戸内町における海産物の採取と利用 一伝統漁法のイザを例として」他	可	
34	012_奄美群島国立公園	杉岡 秋美	奄美国際ネットワーク 代表	鹿児島県	090-2157-3111 a.sugioka@amamigu ide.co.jp	○	ガイド 旅行会社	奄美大島においてインバウンド専門の旅行会社を主宰	大阪大学経済	全国通訳案内士の資格を生かして、奄美で最初のインバウンド専門の旅行会社を立ち上げる。地域観光協会員として環境省の補助金事業の運営に携わる。	奄美でのインバウンド旅行の造成 奄美の英語観光冊子「All about Amami」(農水省農泊補助事業の一環)を編集	可	
35	013_西表石垣国立公園	徳岡 春美	一般財団法人 西表財団 事務局長	沖縄県		○	エコツーリズム	全体		西表島エコツーリズム協会事務局長として、島内の自然資源を活用した観光の推進に尽力。令和4年度より現職。	エコツーリズム、環境保全関連の委員 西表島の生物、文化等の冊子の企画・編集 組織の運営 西表島における環境学習の企画・運営	一部非公開(連絡先、学歴)	
36	014_会津若松	山内 和昭	・公立大学法人会津大学 学生部副部長 上級准教授 ・会津若松市国際交流協会 理事	福島県	080-4295-8357 yamauchi@u- aizu.ac.jp	○	・高等教育と大学行政管理 ・産学連携 ・英語教育法	・各種国際学会開催と運営に関する実践研究 ・外国人教員及び留学生の支援	会津高等学校 クイーンズ大学理学士 岩手大学工学士 シカゴ大学教育学博士号 (TESOL) 取得	大学卒業後11年間は、日本の商社とアメリカのコングロマリットにおいて国際貿易の仕事に従事。現在、豊富な実務経験を活かして会津大学にてスーパーグローバル大学創生支援事業等に尽力している。会津に日本版シリコンバレーを創出することを目標に大学教育に貢献している。	大学行政管理学会誌 論文発表 「会津地方における各方言のフォルム分析」日本方言研究会 論文発表 会津会報120号 記事執筆 日本高等教育学会 論文発表 多数 工学教育研究講演論文集 論文発表 など ※論文は単名、連名含む	可	
38	017_近江八幡の街並み	亀岡 哲也	メルクロス(株)顧問 滋賀地方自治研究センター 副理事長	滋賀県	090-3053-6647 sgm01701@nifty.ne. jp	○	地方史、文化財	特に京滋地方、人権に関わる歴史	京都大学文学部史学科国史学専攻	近江八幡市職員(文化財技術職)として、文化財や市史編纂に関わり、造詣が深い	『近江八幡の歴史』(近江八幡市史)編纂事務局 『近江八幡の火祭り行事：民俗文化財調査報告書』編集執筆 『近江八幡の部落史』編集執筆 『京都の部落解放運動史』編集委員	可	
41	018_祇園	茂山 千五郎	大蔵流流狂言師			○	伝統芸能	能楽	立命館大学 文学部日本文学科	茂山千五郎家十四世当主 3歳の時、狂言「以呂波」のシテにて初舞台。現在まで数々の舞台を踏む。	大蔵流能楽師狂言方 1972年生 1976年「以呂波」にて初舞台 1989年「三番三」を披く 2004年「花子」を披く 2010年「狸腹鼓」を披く 2016年十四世茂山千五郎襲名 2017年日本能楽会会員 (重要無形文化財保持者総合認定)となる	一部非公開(居住地、連絡先)	
45	18_祇園	井上 治	京都芸術大学准教授	京都府		○	伝統文化	華道など	京都大学大学院文学研究科、博士1文学	嵯峨御流正教授	著書 『花道の思想』(思文閣出版2016) 『歌・花・書と茶道』(淡交社2017) 『茶と花』共著 (山川出版社2020) など	一部非公開(連絡先)	